

HTML を使ったデータティップ

テキストの書式設定を使用すると、グループやレイアウ トのデータティップを読みやすくしたり、特定のレイヤの データを強調することができます。これにはマイクロイメー ジ社のテキスト書式設定コードを使うことができますが (テ クニカルガイド『データティップにスタイルを付ける (Add Styling to DataTips)』を参照)、標準的な HTML マークアッ プやCSS(カスケーディングスタイルシート)レベル2のス タイルメソッドを使用して、データティップの書式を整える こともできます。HTMLマークアップを使用すると、フォン トの選択やスタイル、カラー、データティップ内の位置の調 整を柔軟にコントロールできます。 図形 Web タイルセット に変換するためのデータを準備している場合、データティッ プに HTML の書式設定を使うとさらに有利です。Web マッ プ上で直接使用できるため、データティップ情報を意図した とおりに表示させることができます。

①複数レイヤのデータティップの表示設定

空間表示

このページの例のような HTML 形式のデータティップで は、データティップ情報は 要素の中に含まれます。 データティップの各行はテーブルの行 () 要素を構成しま す。各データティップ項目の前付け文字要素と値要素はそれ ぞれ別のテーブルデータ () 要素に含まれ、テーブルの 各列を定義します(下のサンプル HTML の緑色のテキスト 行を参照)。個々のレイヤにデータティップを設定し、それ らの要素にエンクロージングの タグと タグを付け ると(後に解説)、データティップの各イベント中、これら の HTML 要素が自動的に検出され、データティップテキス トは仮想 HTML「ドキュメント」としてパースされます。最 初と最後の <body> と タグは、この仮想ドキュメン トに自動生成されます(下図に赤のテキストで表示)。



ティップ項目を選択的に書式設定できます (表示コントロー ルスクリプトは、表示マネージャの [表示]から [コントロー ルスクリプトの編集]を選び〈SML〉ウィンドウで編集しま す)。データティップがリクエストされるたびに呼び出され る定義済みの関数を使用して、スクリプトは仮想 HTML デ・ タティップ「ドキュメント」の <head> 要素を作成し、その 中に CSS スタイル定義 (サンプル HTML の青いテキスト) を入れます。このページの例では、定義済みの CSS タイプ セレクタ「tr」を使用して、すべての 要素 (データティッ プの各行)に使われるフォントとフォントサイズを最初に定

義しています。次に、2つめのユーザ定義のクラスセレクタ 「prefix」では前付け文字のテキストを含む 要素内のテ キストに太字を定義します。このような 要素の HTML マークアップには、スタイルを適用するためのプロパティと してこのクラス名を入れておく必要があります。

①データティップスタイルを定義する

表示コントロールスクリプトのサンプル

(次ページに続く)

表示コントロールスクリプトでは、CSS スタイルを使用し て、関連するグループやレイアウトの全レイヤからのデータ	tune On ViewData IPShowRequest (表示ウインドウの全レイヤ class GRE_VIEW view, class POINT2D point, class TOOLTIP datatip
上図のデータティップ用に生成された仮想 HTML ドキュメント <html> <head> <style> tr { font-family: Verdana,Helvetica,sans-serif; font-size: 12pt; } .prefix { ユーザ定義のクラスセレク</td><td>) { datatip.String = '<html><head><style> tr { font-family: Verdana,Helvetica,sans-serif; font-size: 12pt; } .prefix {font-weight: bold;} </style></head>'; return 0; 関数で0を返し、各レイヤのデー</html>	
font-weight: bold; タ「prefix」のスタイル定義 データティップテキスト読み込み時に自動的に生成されるタグ) タティップテキストをここで作成 した文字列に付加
(Incade) (Incade)	この例では、それぞれのレイヤにアタッチ このテーブル行 の文字列式から HTML マークアップ付きの データティップテキストが作成されます。 このフィールドを〈レイヤコントロール〉 ウィンドウでレイヤのデータティップの ソースとして設定します。
自動的に生成されるタグ 	¹
右図の [Datatip] フィールドの文字列式 'Field area: clu_public_a_ne131.CALCACRES + ''';	126.68 (tr>\td class="prefix">Field area: /td> /td> /tr> 126.68 (tr>\td class="prefix">Field area: /td> /td>

前ページのデータティップの例では、各レイヤの (HTML マーク アップ付き)データティップテキストは、アタッチされたテーブル の文字処理フィールドで文字列式により作られています。レイヤの 〈レイヤコントロール〉 ウィンドウで、このフィールドがデータティッ プのソースとして設定されています。この文字列式では、前付け文 字に使用されるテキストや、値を含むデータベースフィールド、(必 要であれば)後付け文字のテキストを定義し、必要な HTML タグで 囲みます。また、前付け文字テキストが入った 要素が、表示コ ントロールスクリプトで定義済みの「prefix」スタイルクラスに割り 当てられます。この方法だと、文字処理フィールドのクエリエディ タを使用してレイヤのデータティップテキスト全てを作成し、テー ブル内の対応するフィールドで結果のテキスト文字列をプレビュー して、誤字をチェックすることができます。〈テーブルプロパティ〉 ウィンドウで文字処理フィールドの幅を十分な長さに設定し、文字 列式により生成されるテキスト文字列の長さが収まることを確認し ます。幅が狭すぎるとテキスト文字列の最後が切り捨てられ、HTML マークアップが正しくパースされず、このレイヤと残りの レイヤのデータティップ項目が表示されなくなります。ま た、この方法を使用する場合は、〈レイヤコントロール〉ウィ ンドウの [前付け文字] フィールドと [後付け文字] フィー ルドが空白になっていることを確認します。これらのフィー ルドにテキストが入っているとデータティップの HTML マークアップのパースにも影響します。

②単一レイヤに対するマルチラインデータティップ

また、HTML 形式のデータティップテキストのソースと して文字処理フィールドの文字列式を使用すると、1 つの レイヤから属性一式を表すマルチライン(複数行の)データ ティップを作ることもできます。右の図のデータティップ

見出し用に 2 列にわたる CSS スタイルプロパティを使用し、見出しの太さと位置を設定 -ブルセルを設定 'Parcel Information 'Address: ' + ca062506.Situs_NoCity + ' ' + 'Owner Occupied: ' + ca062506.OwnerOccupied + ' 'Year Built: ' + NumToStr(`Lancaster County Dwelling Info`.Yr Blt) + ' 'Assessed Value: '+ sprintf("\$%.f", ca062506.ASSESSED) + ''Dwelling Sq Ft: '+ `Lancaster County Dwelling Info`.SqFtna + ' 'Parcel ID: '+ ca062506.PID + ' ''; 複数行のデータティップの後ろに空白のテーブル行を置く

のサンプルには、不動産区画に関する複数行の情報が含まれていま す。このレイヤの文字列式(上の囲みを参照)では、1つのテーブル データ要素を2列にわたる設定にすることで、複数行の項目に対し て中央揃えの見出しを設定する方法や、スタイルプロパティを 使って、個別の HTML 要素に CSS スタイルを定義する方法を 示しています (図中のグループは、前ページに示した表示コン トロールスクリプトと同じスクリプトを使ってほとんどのデー タティップのテキストスタイルを設定しています)。

③テキストスタイルの条件分岐

このグループの Floodplain レイヤの文字列式 (右の囲み参 照)に示されるように、データティップテキストのカラーなど のテキストスタイルをスタイルプロパティを使用して条件付き で変更することもできます。

〈レイヤコントロール〉ウィンドウでデータティップテ キストのソースとして HTML マークアップ付き文字処 理フィールドが設定されています。

Dject Points Lines P	Polygons Nodes Labels 3D	
Shou All 💌 Speci	ify Style All Same	▼ Edit
-DataTips /		
Show clu_public_a_ne13	1.DataTip 💌 🕱 Highlight	
Prefix	Suffix	

HTMLのデータティップソースに文字処理フィールドを 使用する場合は、[前付け文字]と[後付け文字]フィー ルドは空白して下さい。

ジオタグ付き写真

設定は次ページ(4)-2



(次ページに続く)

④前付け・後付け文字に HTML を使用する

ラスタレイヤやピンマップジオタグ付き写真などの一部のレイ ヤでは、HTML 形式のデータティップテキストのソースとして文 字処理フィールドの使用が難しい場合があります。このような場 合、右の例に示すように、〈レイヤコントロール〉ウィンドウのデー タティップの[前付け文字]フィールドと[後付け文字]フィール ドに適切な HTML マークアップを指定します。

 ④-1〈レイヤコントロール〉ウィンドウでデータティップの[前付け文字]と[後付け文字]フィールドに HTML マークアップを入れることもできます。



-Datalin

